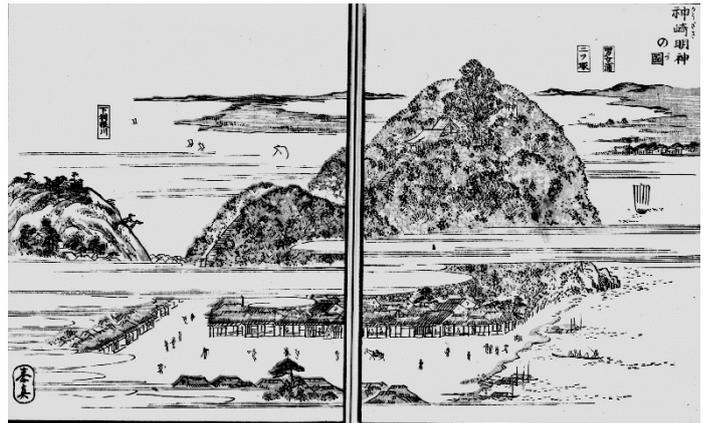


# 知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより  
2018年11月



## 第63号



『利根川図志 5』赤松宗旦義知著「神崎明神の図」  
（「菜の花ライブラリー」千葉県デジタルアーカイブ）

### ▼はつらつライフ講座

「知っておきたい 相続・遺言」

講師:黒羽 健司 氏

(千葉県金融広報アドバイザー)

日時:11月10日(土)13:30~15:00

定員:40名(定員になり次第締切)

申込方法:来館、電話、FAX、

Eメールにて

### ▼歴史講座

「広辞苑の父 新村出(しんむらいずる)博士の生涯

-佐原で学んだ少年時代から辞書編纂に携わるまで-

講師:新村 恭 氏

日時:1月12日(土)13:30~15:30

定員:80名(定員になり次第締切)

申込方法:来館、電話、FAX、Eメールにて

申込み開始日は決定次第ホームページでお知らせします。

### ▼Twitter(ツイッター)の稼働について

県立図書館3館に共通のTwitterアカウントを開設いたしました。本アカウントでは、本の紹介やイベント告知、図書館トリビアなどを投稿します。Twitterを通して、県立図書館の情報を発信しますので、これまで以上に多くの方が図書館に親しみを持っていただけたら、幸いです。

アカウント名:@chibaken\_lib

### ▼年末年始休館のお知らせ

12月29日(土)から1月4日(金)まで、休館します。なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面、入口左側のブックポストをご利用ください。

### 各講座のお問合せ:千葉県立東部図書館

〒289-2521 旭市八の349

TEL:0479-62-7070

FAX:0479-62-7466

メール:elib-kouza@mz.pref.chiba.lg.jp

ホームページ URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイト URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機の

QRコードリーダーでアクセスできます→



↑PC・スマホ等の方はこちらへ

## 「映画と共に歩んだわが半生記」

淀川長治著

近代映画社 2008 [77804/173]

1998年の映画界は「タイタニック」の大ヒットで幕を開け、9月には黒澤明監督が、11月には映画評論家の淀川長治氏が亡くなりました。

この本は、日曜洋画劇場解説者の淀川長治氏が1969年から5年間、映画雑誌『SCREEN』に掲載した記事をまとめたものです。明治42年、淀川氏が生まれる前日、両親は活動大写真を見ていたそうです。映画好きな両親、祖母、姉に囲まれて育った少年が「サヨナラ・サヨナラ・サヨナラ」の有名解説者になるまでの半生を、日本映画業界の歴史を追いながら読んでみてはいかがでしょうか。

## 図書館ぶらり散歩 (45)



19



8



東部図書館が開館した1998年に関する本を紹介します。

## 「明石海峡大橋 夢は海峡を渡る」

島田喜十郎著

鹿島出版会 1998 [51557/1]

1998年に開通した世界最長の吊橋、明石海峡大橋誕生までの苦労や歴史がまとめられた本です。

筆者は神戸市の職員として、また本州四国連絡橋公団へ出向して初期段階の設計や現場調査業務に直接関わっており、臨場感あふれるエピソードが満載されています。

明石海峡大橋だけではなく、日本や世界の様々な橋の構造についても、写真や図を用いて詳しく解説されており、橋全般に興味がある人にもおすすめです。

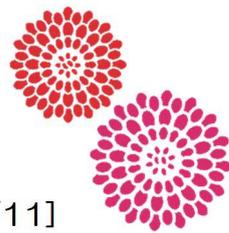
なお、架橋20周年を迎え、完成後のエピソードを盛り込んだ新版も2018年9月に発行されています。



## 「歴史を変えた毒」

山崎幹夫著

角川書店 2000 [49159/11]



1998年の「今年の漢字」\*は「毒」でした。この年は、和歌山でカレーに毒物が混入される事件が起こったり、ダイオキシンや環境ホルモンなどが社会問題になったりした年です。

この本では、世界の歴史の中に登場する様々な「毒」が紹介されています。クレオパトラが自殺の際に用いたヘビ毒、歴代ローマ皇帝を狂わせた鉛毒、第一次世界大戦で兵器となった毒ガス…。古くから人と関わってきた毒は、歴史の中の闇としてたびたび登場します。長い間培われてきた「毒の文化」を辿る一冊です。

\*日本漢字能力検定協会が主催する、一年の世相を表す漢字を募集・発表する事業。

## 「<sup>きとし</sup>聖の青春」

大崎善生著

講談社 2000 [79602/4]

昨年、天才棋士がスポットライトを浴びました。この作品の主人公村山聖も天才棋士でした。1998年は、彼が29歳という若さで他界した年です。

村山は、ネフローゼという重い病と闘いながら、名人になるという夢を懸命に追いかけて、将棋界の最高峰A級に在籍したまま亡くなります。「2七銀」が彼の最後の言葉です。将棋をそらんじながら亡くなったのです。

家族や師匠の愛、友情に支えられながら、将棋と生きた天才棋士の壮絶な命の記録です。将棋を知らなくても楽しめる一冊となっています。

※[ ]内は資料の請求記号です。

## 平成30年度 千葉県立東部図書館 文学講座 報告

### 「漱石と龍之介 房総の旅」

講師 中谷 順子 氏（詩人・評論家）

●6月9日（土）当館3階研修室にて、文学講座を開催し、49名が参加しました。



講師に詩人・評論家で、『千葉日報』に千葉県にゆかりの作家を紹介する「房総の作家」を連載されている中谷順子氏をお招きし、夏目漱石と芥川龍之介という二人の文豪についてご講演いただきました。

漱石が学生時代に房総を旅し、そのことを漢詩と漢文で記した「木屑録（ぼくせつろく）」が親友・正岡子規に激賞されたことや、龍之介が一宮海岸に滞在の折、師と仰ぐ漱石から手紙を贈られたことなど、房総との関わりや人間関係について様々なお話を聴くことができました。

講座に参加された方々からは、「漱石、龍之介と房総の関係が意外に深かったことがよく理解できた。」「二人の人間関係が分かりやすかった。」等の感想が寄せられました。

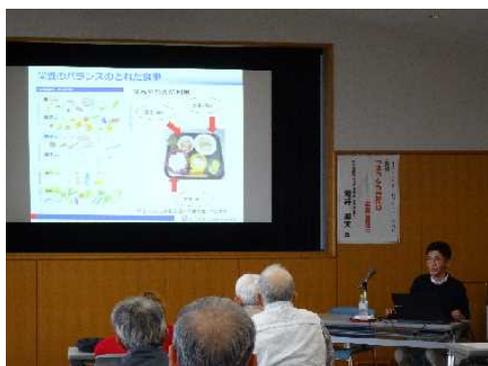
※県立図書館では、夏目漱石・芥川龍之介に関する図書等を多数所蔵しています。

## 平成30年度 東部図書館 はつらつライフ講座 報告

### 「はつらつ世代の栄養管理」

講師 坂井 厚夫 氏（旭中央病院 臨床栄養科長 管理栄養士）

●10月13日（土）当館3階研修室にて、はつらつライフ講座を開催しました。この講座は、シニア世代の暮らしに関するさまざまな課題を解決するための情報を提供するものです。今回は、講師に旭中央病院・管理栄養士の坂井厚夫（さかい あつお）氏をお迎えし、21名が参加して、「はつらつ世代の栄養管理」というテーマでお話を伺いました。



講座では糖分・塩分を取り過ぎた場合に起こるリスクや、規則正しい食事方法、塩分摂取の目安量などを学びました。

「海匝・香取地区は濃い味付けを好み、糖類や塩分の摂取が多い」というお話もありましたが、皆さん、ご存知でしたか？ アンケートでは、「塩分・糖分・脂肪など改めて意識して気をつけたいと思った。」「できることから始めて、続けることが大事という言葉が、がんばろうという気持ちにさせてくれた。」などの声が寄せられました。

※県立図書館では、県民に必要な課題解決支援として、各種講座を開催しています。

## 昭和20年の小見川町の人口は？

### 【質問内容】

昭和20年の香取郡小見川町の人口を知りたい。『小見川町史』などを確認し、前後のデータは見つかったが、昭和20年が見つからない。

### 【調査結果と提供資料】

『昭和20年人口調査集計結果摘要』（総務省統計局 1977）（p36）によると、昭和20年の小見川町の人口は、総数 8,658 人（男 3,883 人、女 4,775 人）でした。

### 【調査経過】

- ① まず『国勢調査』や東部図書館が所蔵している統計資料、小見川町や香取郡の歴史資料を確認していきましました。昭和22年などのデータは掲載されていましたが、昭和20年の人口データは確認できませんでした。
- ② 総務省統計局のHP「国勢調査のあゆみ」を見ると、「昭和20年は国勢調査を施行すべき年であるが、現下の緊迫する情勢に鑑み、帝国版図内一斉に国勢調査を施行することは困難である。」として、中止になり、昭和22年に臨時国勢調査が実施されたとありました。  
(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kouhou/ayumi.html>)
- ③ 『日本統計年鑑 第67回(2018)』（総務省統計局 2017）（p44）に町村ごとのデータではありませんが、大正9年から平成28年の都道府県別人口が掲載されていました。大正9年から5年おきにデータが載っており、昭和20年の人口も掲載されています。備考欄で出典を確認すると「『国勢調査』及び「人口推計」による。ただし、昭和20年は「人口調査」（11月1日現在）による。」とありました。
- ④ 蔵書検索システムを書名「人口調査」で検索したところ、中央図書館に『昭和20年人口調査集計結果摘要』が所蔵されていました。取り寄せて内容を確認すると、県別に町村ごとの人口データなどが掲載されており、昭和20年の小見川町の人口データを見つけることができました。

### 【担当者からコメント】

今回の調査では、『日本統計年鑑』（総務省統計局）が役に立ちました。知りたいデータがそのまま掲載されていたわけではありませんが、情報源の出典が案内されており、昭和20年に『人口調査』が行われていたことが確認できました。分野ごとに調査の解説もされており、統計の情報源を知るための資料として、とても有用な資料だと改めて感じた事例でした。

■ 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。

お近くの図書館、公民館図書室等の読書施設にご相談ください。

■ 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。

グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

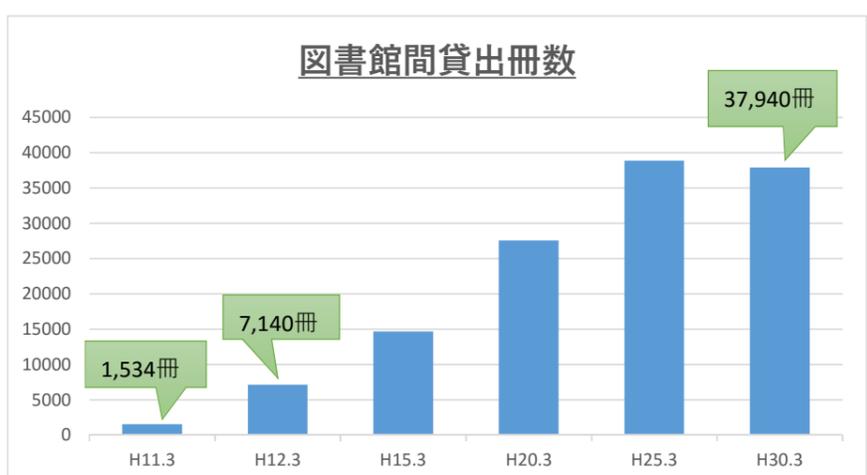
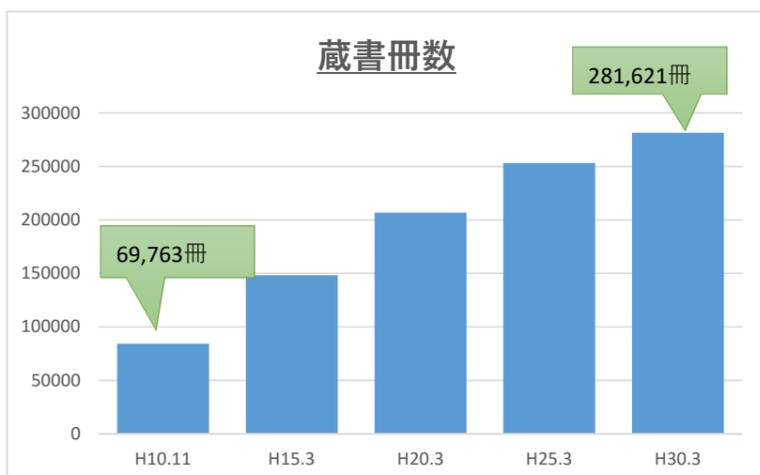
### 編集長の独り言

おかげさまで、20周年。当館をご利用いただき、ありがとうございます！ 本との出会い、調べものやご相談、様々な講座へのご参加…。読書の楽しみや潤いのある暮らし、皆様の生涯学習のお役に立ちましたでしょうか？ これからも一層のご利用、よろしく願いいたします！！

編集・発行：千葉県立東部図書館  
〒289-2521 千葉県旭市ハの 349  
TEL 0479-62-7070  
FAX 0479-62-7466  
URL: <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

# 東部図書館 20年のあゆみ

年	主な出来事
平成10(1998)	4月 「東部図書館準備班」旭市で開館準備業務を開始 11月 開館 11市町の図書館等への協力車巡回サービスを開始 12月 図書館朗読者養成講座（初級）を開始
平成11(1999)	2月 文学・歴史講座を開始 4月 奉仕対象地域内高等学校図書館への資料貸出等を開始 12月 中国語図書館所蔵目録刊行を開始
平成12(2000)	3月 韓国・朝鮮語図書館所蔵目録刊行を開始 10月 名作映画鑑賞会を開始
平成13(2001)	4月 奉仕対象地域内全市町村及び高等学校図書館への協力車巡回サービスを開始 4月 千葉県立図書館ホームページを公開
平成14(2002)	3月 「知識は旅をする」第1号を発行 4月 県立図書館の祝日開館を開始 城西国際大学図書館への協力車巡回サービスを開始
平成15(2003)	4月 インターネット利用席設置、オンラインデータベースを導入 8月 入館者数100万人突破
平成16(2004)	6月 中・高校生のための図書館資料検索入門を開始 8月 「中国語図書目録」、「韓国・朝鮮語図書目録」をホームページ公開
平成17(2005)	4月 カラーコピーサービスを開始
平成18(2006)	4月 千葉科学大学図書館への協力車巡回サービスを開始
平成19(2007)	2月 千葉県図書館統合電算システム稼働し、インターネット図書予約システム、メールレファレンスを開始 4月 ないーぶネットの導入
平成20(2008)	4月 入館者数200万人突破 11月 開館10周年記念事業を開催 12月 千葉県立図書館サービス評価指標を設定
平成21(2009)	2月 図書館見学会、図書館の達人（検索入門編）を開始
平成22(2010)	4月 巡回展示サービスを開始
平成23(2011)	3月 東日本大震災で臨時休館、開館時間を短縮 12月 シニア支援コーナー、就職情報コーナーを新設
平成24(2012)	11月 公衆無線LANを導入
平成25(2013)	2月 課題解決支援講座を開始 3月 「千葉県立図書館の今後の在り方」行動計画を策定 10月 入館者数300万人突破
平成26(2014)	1月 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスに参加 2月 地域づくり支援講座を開始 4月 奉仕対象地域内特別支援学校図書館への協力車巡回サービスを開始 「シニア支援コーナー」を拡充し、「はつらつライフなび」に名称を変更 10月 ライフプラン講座を開始
平成27(2015)	1月 はつらつライフ講座を開始
平成28(2016)	3月 教科用図書（教科書）見本本閲覧を開始
平成29(2017)	11月 電算システム更新によりホームページの菜の花ライブラリーを一新、スマートフォン等も対応
平成30(2018)	1月 「千葉県立図書館基本構想」を策定 10月 開館20周年記念講演会を開催



蔵書冊数は約4倍に

図書館貸出冊数は約5倍余に増加！

(開始平成10年度はH10.11～H11.3までの5か月間のためH12.3との比較)

## 開館20周年を迎えて

東部図書館は、平成10(1998)年11月に3館目の県立図書館として旭市に開館し、おかげさまで開館20周年を迎えることができました。この20年間で約327万人の方々にご利用いただきました。

県立図書館3館はそれぞれ特徴があり、当館は、文学・歴史分野の図書等が充実しております。県内の中核的な調査研究図書館として、当館で所蔵していない図書の取寄せは、県立図書館のネットワークを使い、県内の市町立図書館等の蔵書約1,880万冊の中からお探し、皆様にお届けします。県内図書館間で相互貸借として搬送された図書は、昨年度約20万冊になります。また、国立国会図書館や他県の図書館からの取寄せも可能な仕組みになっております。

さらに、図書館にはレファレンスといって、本に関することや調べたいことについて職員(司書)がお手伝いする仕事があります。ご来館、電話やメールレファレンスにて、お気軽にご相談をいただきたいと思います。

この度、開館20周年記念講演として、光触媒研究の第一人者である藤嶋昭氏(東京理科大学栄誉教授)をお迎えし、「科学と生きる喜び」のご講演をいただきました。皆様がともに科学の魅力や楽しさを共有し、知の創造と循環により新しい科学の芽を生み出す場として、図書館を活用していただければ幸いです。

これからも職員一同、皆様の期待にお応えできるよう各種サービスの充実に努めてまいりますので、今後とも東部図書館をよろしくお願いいたします。

千葉県立東部図書館長 鎌形佐知夫

## 20周年の関連イベントをご紹介します！

### その1 開館20周年記念講演会



10月28日に記念講演会を開催します。講師は藤嶋昭先生、テーマは「科学と生きる喜び」です。

1967年に世界で初めて「光触媒反応」を発見した先生に、これまでの人生や、科学の楽しさについて、お話しいただきます。

### その2 カウントダウン展示

入口付近では、開館した1998年に出版された本とともに、20周年の記念日までカウントダウンを行います。毎日1冊ずつ本を紹介します。懐かしさを感じたり、新たな発見があったりするかもしれません。紹介した本と資料リストは、館内に展示します。

### その3 クイズラリー

11月2日から図書館内を探検しながら楽しめるクイズラリーを開催します。参加してくれた方には、ささやかな景品が…！(11月11日まで)

### その4 しおりのプレゼント

11月1日から館内で記念しおりを配布します。当館の写真、県立図書館所蔵の錦絵等をデザインしています。(400枚限定)